

## 中間評価概要と対処方針

PCなどオープンアーキテクチャーデジタル放送受信機に対応する権利保護システムの研究開発	受託者：富士通株 研究開発期間：H14年1月～H16年3月 (2年3ヶ月)
<p><b>【全体的な進捗状況】</b></p> <p>当初の計画（又は変更した計画）以上に進捗している。</p> <p>概ね当初の計画（又は変更した計画）通り進捗している。</p> <p>一部を除き、概ね当初の計画（又は変更した計画）通り進捗している。</p> <p>当初の計画（又は変更した計画）通り進捗していない。</p>	<p><b>【対処方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>現行どおり継続する。</li></ul>
<p><b>【所見及び改善事項】</b></p> <p>セキュア化方式に関する4件の特許出願、セキュリティハード/ソフトの試作完了など、概ね当初の計画通り進捗している。</p> <p>ただし、セキュリティの評価に関しては不十分の面もある。</p>	<p><b>【受託者側の対応方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>セキュリティ評価は、一般的には、定量的な基準がなく、客観的評価は、困難とされている分野である。しかし、一方で、客観評価がないと本技術の実用化は困難と考えられる。その辺を勘案し、出来る限り、客観評価が出るような形で、今後の研究開発を進める。</li></ul>